# 官民連携による食の魅力発信・販路開拓事業

【目的】日田産農産物や加工品などの日田の食のブランド価値向上を図るため、福岡都市圏を中心とした外食市場への販路拡大を推進するとともに、生産者の販売力強化、市民の地元食材への愛着造成、及び外食事業者との継続的な取引関係の構築を通じて、日田の食材の魅力発信を展開するもの。

【内容】

①福岡都市圏でのメニュー展開

→日田産食材を使用したメニューの開発・提供を行い、外食市場で実際に日田産食材を使ってもらう機会をつくる。

例）日田産食材の情報を基に、サッポロビールと外食企業が日田産食材を使ったメニュー開発を実施する。

②外食企業との商談・関係構築

→サッポロビールの人脈を活かして、通常は会えない相手と接点を作りつつ、産地として「売りに行く」姿勢を外食企業へアピール

例）日田市、生産者・加工事業者、サッポロビールで外食企業を訪問し、日田産食材のストーリーを伝え特別な関係を築く。

③産地視察・見学会

→バイヤー・料理人に日田の現場を体感してもらい「仕入れ候補」から「継続的に付き合いたい産地」へ認識を変える。

例）サッポロが関係を持つ外食企業のバイヤー・料理人を日田に招き、視察ツアーを実施。

④生産者・加工業者の提案力・営業力向上支援

→「売る力」を身に着けてもらい、外食企業への個別提案・商談ができる状態を目指す。

例）業態・客単価・バイヤーの視点・価格感・供給条件を共有する勉強会

商談に必要な情報を過不足なく盛り込んだ提案書フォーマットの提供

【３ヵ年計画】　1年目：食のブランド化に向けた基盤構築

メニューフェア開催/産地見学会及び交流会/外食市場勉強会など

2年目：食のブランド化に向けた展開・拡大

1年目の内容 + 食材ごとのメニュー標準導入支援/工場見学×マルシェなど

3年目：「福岡マーケット・地元」へのブランド定着・自走

1,2年目の内容 + 生産者・料理人の関係構築に向けた新商品開発・交流会など

→食のブランド化確立